

別記様式（第4条関係）

会議録（令和5年度大垣市地域創生総合戦略推進委員会第2回会議）

議 題	議題(1) 第3期「水の都おおがき」創生総合戦略について		
日 時	令和5年10月13日（金）	場 所	大垣市役所 4階 情報会議室
	13:30～14:55	事務局	企画部地域創生戦略課
出席者 (欠席者)	竹内 治彦《委員長》、杉田 邦隆、 竹中 昌子、長瀬 ちえ子、田中 慎也、 松岡 敦子、松村 麻里、三輪 千加子、 三輪 正直、松本 正平、和田 雅、西 哲也、 若山 謙一、堀 哲也、山田 孝二、 宮本 隆彦、長谷川 郁代（計17人） （欠席者：茂木 七香《副委員長》、 川瀬 久子、竹中 哲夫、 鳥居 保徳）	傍聴者数	0人
		記録方式	全文・ 要約
【発言】			
議題(1) 第3期「水の都おおがき」創生総合戦略について			
事務局より第3期「水の都おおがき」創生総合戦略（素案）を提案したところ、委員より次の意見があった。			
①（欠席委員からの書面提出意見）素案50ページの「デジタル化による市民サービスの向上」の「行政手続等」や53ページの「産業活性化の推進」の「企業支援制度」等について、スマホ・タブレットの利用率が高く、60代以上での普及率も高くなっているため、場所と時間を選ばない情報発信・受信が重要である。こうした観点から、			
1)各種手続きについて、Y o u T u b e等を活用したチュートリアル動画を作成し、オンライン申請率を高め、窓口業務の省人化を図られたい。			
2)各種イベントの情報について、L I N EをはじめとしたSNSを活用して発信し、市民参加の活性化を図られたい。			
②素案60ページの「交通事故死者数」について、基準値が「(R4) 4人」で、目標値が「(R10) 4人以下」とあるが、「以下」だと、基準値と同じ4人でも達成になってしまうので、「未満			

に修正されたい。

- ③素案53ページの「新規高等学校卒業者（西濃圏域）の地元就職の割合」について、「大垣市雇用戦略指針策定委員会」において素案の審議がなされている「大垣市雇用戦略指針」の目標指標と共通化していると思われるが、当該素案に就業者の人数や割合に関する別の目標指標が追加で設定される見込みであるため、整合を図られたい。
- ④素案50ページの「デジタル化による市民サービスの向上」において、自治会が実施している班回覧のデジタル化に係る取り組みを検討されたい。
- ⑤森林の荒廃が目立っており、二酸化炭素排出量削減や緑化ともリンクすると思われるため、素案63ページの「公園の整備・緑化の推進」の文言にそうした要素を加えられたい。
- ⑥素案45ページの「基本目標1 子育て日本一を実感できるまちづくり」について、乳幼児に係る子育て支援が充実している一方で、小中学生の子どもたちの居場所が少ないと感じるため、子どもの居場所づくりを積極的に推進されたい。
- ⑦素案48ページの「学校・地域における教育環境の整備」の主な取り組み「地域の学校支援活動の充実」について、みんなで学校を作り上げていこうという意識が地域に醸成されることが重要であるため、「支援」ではなく、「協働」に修正されたい。
- ⑧素案の修正には直結しないが、ジェンダーやLGBTQ等に関して適切に配慮しながら、各種取り組みを進められたい。

【結論（成果）】

- ・上記の意見のうち、①1)、②、③、⑤、⑦に関して、素案の修正を検討する。（その他の意見については既存の文言で読むこととする。）
- ・修正素案でもって12月に議会報告し、1月にパブリック・コメントを実施する。

特記事項	
------	--